



アクセス リスト

アクセス リストとは、1 つ以上の許可ステートメントから構成されるシーケンシャル リストです。1 つ以上の拒否ステートメントを含むこともあります。これらのステートメントは、IP アドレスと場合によっては上位層 IP プロトコルに適用されます。アクセス リストには名前が付けられ、その名前で参照されます。多くのソフトウェア コマンドは、アクセス リストを構文の一部として受け入れます。

アクセス リストは、[一括管理] メニューを使用して挿入、削除、エクスポートできます。BAT の [アクセスリスト] メニューを使用して、次の作業を実行できます。

- [アクセス リストの挿入 \(P.54-2\)](#)
- [アクセス リストの削除 \(P.54-3\)](#)
- [アクセス リストのエクスポート \(P.54-4\)](#)

アクセス リストの挿入

BAT を使用してアクセス リストを挿入する手順は、次のとおりです。

始める前に

- アクセス リストには固有の詳細情報を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- [P.2-4 の「ファイルのアップロード」](#) の手順に従って、トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理] > [モビリティ] > [アクセスリスト] > [アクセスリストの挿入] の順に選択します。
[アクセスリストの挿入 (Insert Access List Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、アップロードしたファイルを選択します。
 - ステップ 3** 既存の設定を上書きするには、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェック ボックスをオンにします。
 - ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションに、ジョブの説明を入力します。デフォルトの説明は、「Insert Access List」です。
 - ステップ 5** 対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できません。
 - ステップ 6** [送信] をクリックして、アクセス リストを挿入するジョブを作成します。

[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
 - ステップ 7** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジュールラ] オプションを使用します。
-

その他の項目

詳細については、[P.54-5 の「関連項目」](#) を参照してください。

アクセス リストの削除

BAT を使用してアクセス リストを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

- アクセス リスト名が含まれたデータ ファイルが必要です。
- [P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」の手順に従って、トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理] > [モビリティ] > [アクセスリスト] > [アクセスリストの削除] の順に選択します。
[アクセスリストの削除 (Delete Access List Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除 アクセスリスト、検索条件; 名前 カスタムファイル内] ドロップダウン リスト ボックスで、アクセス リストを削除するためにアップロードしたファイルを選択します。
- ステップ 3** [検索] をクリックします。
- ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションが表示され、選択したアクセス リストが示されます。
- ステップ 5** 対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。
- ステップ 6** [送信] をクリックして、アクセス リストを削除するジョブを作成します。

[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
- ステップ 7** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジューリングやアクティブ化を行います。
-

その他の項目

詳細については、[P.54-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

アクセスリストのエクスポート

BAT を使用してアクセスリストをエクスポートする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [モビリティ] > [アクセスリスト] > [アクセスリストのエクスポート] の順に選択します。[アクセスリストのエクスポート (Export Access List Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索 アクセスリスト、検索条件 ;] ドロップダウン リストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [名前]
- [説明]
- [オーナー]

ステップ 3 2 番目の [検索 アクセスリスト、検索条件 ;] ドロップダウン リストボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 4 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのファイルを表示するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

ステップ 5 クエリーをさらに定義するには、次のようにします。

- a. ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択し、ステップ 2 ~ 4 を繰り返します。
- b. [+] ボタンをクリックすると複数のフィルタを追加でき、[-] ボタンをクリックするとフィルタを削除できます。
- c. [フィルタのクリア] ボタンをクリックすると、すべてのフィルタを一度に削除できます。

ステップ 6 [検索] をクリックします。

検索されたファイルのリストが、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [許可]
- [オーナー (Owner)]

ステップ 7 [次へ] をクリックします。次の [アクセスリストのエクスポート (Export Access List Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 [アクセスリストのエクスポート] セクションの [ファイル名 (File Name)] フィールドにファイル名を入力します。

ステップ 9 [Bulk Access List Export Format] ドロップダウン リスト ボックスで、[Access List Format] を選択します。

ステップ 10 [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。

ステップ 11 [送信] をクリックして、アクセス リストをエクスポートするジョブを作成します。

[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。

ステップ 12 このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用します。

その他の項目

詳細については、P.54-5 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [アクセス リストの挿入 \(P.54-2\)](#)
- [アクセス リストの削除 \(P.54-3\)](#)
- [アクセス リストのエクスポート \(P.54-4\)](#)

